

令和5年度事業計画書

特定非営利活動法人わんぱくクラブ

理事長 守屋季代子

電話 048-711-4050

1 活動実施方針

アフタースクールでは7名の卒業生があったことから15名1クラスから10名1クラスへと定員を変更しました。諸事情によりキッズ放デイからアフタースクールへの移行調整が捗らず、児童発達支援の利用希望に添えない状態が続いています。今年度は交流機会を増やし移行に向けての準備を行っていきます。デイズは今年度も女性利用者が増え、女性職員を増員してきめ細かい支援を提供します。アシストもヘルパー増強を図ります。各事業ともコロナ禍の制限から全面開放とまではなりません。感染状況等の動向をみながら徐々に制限を緩和し、利用者の希望する活動が提供できるよう内容を広げていける年となりそうです。

アシストとアフタースクールの管理者が交代してのスタートとなりました。作業療法士が育休から復職し、子育て中のパート職員2名が短時間正職員として採用になりました。どんな状況でも働きやすい職場となるよう環境を整えていきます。

車両の安全装置設置、老朽化対策を図ります。

2 事業の実施に関する事項（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（1）特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業・移動支援事業	生活介護	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	20名	定員20名
	行動援護・居宅介護及び地域生活支援事業 (移動支援)	随時	さいたま市内	35名	児童・ 障害者50名
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	児童発達支援及び放課後等デイサービス	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	25名	障害児 定員10名 2ヶ所
障害児(者)生活サポート事業	障害児・者の一時預かり事業、その他	随時	さいたま市内	35名	障害児・者 利用会員 20名
福祉有償運送事業	利用会員に対する移送サービス	随時	さいたま市内	15名	障害児・者 利用会員 20名